

＊ かいせつ ＊

《愛》の美しさとそれをこばむさまざまな障害。身分の差、趣味の違い、親たちとの断層。殺伐な現代社会の中でそれは恋人たちを悲しみの淵につき落す事もある。

エール大学の教授で「イエロー・サブマリン」の作者エリック・シーガルの原作を「おかしな夫婦」のアーサー・ヒラー監督が「さよならコロンバス」のアリー・マックグロウとTV出身のライアン・オニールを起用して、死期のせまった若い妻とその夫との短かく激しい《純愛》を清冽にうたいあげた。

撮影はニューヨーク、ボストンのロケが美しく、音楽は「男と女」「バリのめぐり逢い」「白い恋人たち」のフランシス・レイがあたり、この映画の感動をより深いものにしてている。

愛しあう二人なのになぜ哀しみの詩が流れる——

カラー作品
ある愛の詩 うた
Love Story

アリー・マックグロウ ＊ ライアン・オニール

監督 アーサー・ヒラー

＊ 愛とは決して後悔しないこと ＊



4月3日より待望のロードショー!!

上映時間	(日曜・祝日)	① 10.00	② 12.00	③ 2.00	④ 4.00	⑤ 6.00	⑥ 8.00
	(平日)	① 11.45	② 1.40	③ 3.40	④ 5.40	⑤ 7.40	

道頓堀 松竹座 TEL (211) 1612



カラー作品
ある恋の詩^{うた}
Love Story
原作・脚本エリック・シガール(ラフ・ストーリー) 角川書店刊

＊ものがたり

オリバー(ライアン・オニール)はニューヨークのセントラル・パーク・スケート場の観覧席で想いに沈んでいた。たった今、医師から妻のジェニー(アリー・マックグロウ)の死期がせまっている事を知らされたのだ。オリバーはアイズ・ホッケターの選手で、彼が滑るのを笑顔で見ているジェニーを想い出す。

オリバーが最初にジェニーと会ったのは大学の図書館だった。ジェニーはそこに訪めていて彼を「坊や」と呼んだ。やがて一緒にお茶を飲みに行くようになったが、オリバーはハーレツト家という有名な名家の四世でアイズホッケターだけが趣味という世間知らず。ジェニーはと云えばイタリア移民の菓子屋の娘で、趣味はパロック音楽。そのあまりの身分の差に、かえってひきあうものを感じた。

オリバーがジェニーのハーブシコードの演奏を聞きに行ってモーツアルトやバッハの名を口にするようになって、ふと気がつく二人はもう深い恋のとりこになっていた。

ある日、ジェニーは突然フランスへ行く、と云ってオリバーを驚ろかせた。フランスへ行つてナディア・ブーランジェのもとで勉強したい、というのだ。彼女は今の幸福がつかの間のものである事を感じていた。そして実らないう恋の悲しみから逃げようと考えたのだ。貧しい娘と富豪の息子では何も似つかないものはないように思えた。しかしジェニーのそんな気持をオリバーは問題にしなかった。彼はジェニーに結婚を申し込んだ。

オリバーはジェニーを両親に会わせた。オリバーと父(レイ・ミランド)の間には深いミゾがあった。母は息子と夫との間に入つてとりなそうとするのだが、オリバーの態度に怒つた父は二人の仲に反対し、もし結婚すれば送金も中止する、と説明した。オリバーはその言葉をはねつけた。

オリバーとジェニーはロードアイランドに住むジェニーの父(ジョン・マーレー)をたずねた。彼は二人を歓迎しながらも前途を心配した。

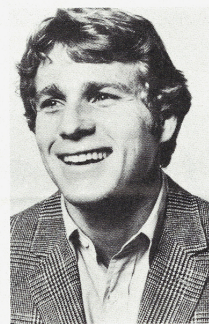
オリバーがハーバードの法律学校へ入る少し前に二人は結婚した。学費や生活費のためにジェニーは働き、二人の生活は貧しかった。オリバーも休みには働いた。愛し合う二人にとつてそれは苦しみとは思えなかった。

やがてオリバーが優秀な成績で卒業し、二人はニューヨークにアパートを借り、オリバーは法律事務所へ勤める事になった。

そんな新しい生活がはじまったばかりの所だったのだ。オリバーはジェニーに医師の言葉を伝えなかったが、ジェニーはそれを知っていた。

ジェニーの望みでオリバーはスケート場につれていった。オリバーが滑るのを見ていたジェニーはやがて苦しみ出した。ジェニーが入院すると、息子との仲直りをねがっていたオリバーの父が小切手をと、けて来た。しかし、もはや金でジェニーの命が買いかえれる時ではなかった。ジェニーは愛するオリバーに抱かれて、死んだ。

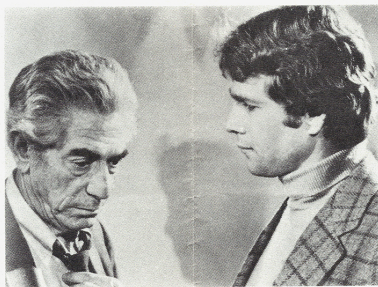
今日もセントラル・パークのスケート場の観覧席に腰を下して、じっと動かないオリバーの姿があった。



RYAN O'NEAL
as Oliver Barrett IV.

ライアン・オニール

1942年ロス生れ。父が作家と一緒に世界各地へ移り住んだ。演技者としての出発はドイツでTVに出た時。米国へ帰ってTV「アンタツチャブル」等に出演。「ペイトン・ブレース物語」で人気を得、共演のリー・テラー＝ヤングと結婚。前作「栄光の賭け」のロケで日本に来た事がある。今後が楽しみな新人。



■Cast

ジェニー……………アリー・マックグロウ
オリバー……………ライアン・オニール
オリバーの父……………レイ・ミランド
フィル……………ジョン・マーレー
オリバー夫人……………キャサリン・バルフォア



ALI MACGRAW
as Jennie Cavillieri

アリー・マックグロウ

ニューヨーク生れ。大学で美術・演劇を専攻。モデルとして人気を得たがこの仕事を好きではなく、映画「さよならコロソバ」に出演するのをきっかけにモデルをやめた。
現在はパラマウント・ワールド・プロの副社長ロバート・エバンス(元スター)の愛妻。趣味も広く知性も豊かでユニークな女優である。

■Staff

製作……………ハワード・G・ミンスキ
監督……………アーサー・ヒラー
脚本……………エリック・シガール
撮影……………リチャード・クラティナ
音楽……………フランシス・レイ
サウンドトラック盤……………パラマウント・レコード

MUSIC by

W. Mozart/Sonata inF Major (Allegro)
J. S. Bach/Concerto No.3 in D Major (Allegro)
Francis Lai